

PSMA-PET 検査に関する説明・同意書

1 PSMA-PET 検査について

PET 検査とは「ポジトロン断層撮影法」のことで、全身や脳、心臓などの働きを断層画像としてとらえ、病気の原因や病状を的確に診断する検査です。

PSMA は「前立腺特異的膜抗原」とよばれるタンパク質です。前立腺癌には非常に多くの PSMA が発現しており、特に転移癌、進行癌でより強く発現する特徴があります。PSMA-PET 検査は、高い感度と特異度により FDG-PET 検査などの他の画像診断では指摘が難しい病変の検出に有用であるとの報告があります。

2 検査の概要

実際の検査では、 ^{68}Ga -PSMA-11 (^{68}Ga ゴゼトチド)という、ごくわずかな放射性同位元素を含んだお薬を静脈に注射します。注射後には 60 分程度安静にさせていただきます。その後、検査前に排尿していただき、全身にお薬が集まる様子を撮影します。検査中 (20 分程度) は仰向けのまま動かずにじっとしていただく必要があります。場合により、追加撮像をおこなうことがあります。

3 PSMA-PET 検査でうける被ばくについて

^{68}Ga -PSMA-11 は放射性同位元素を含むため、投与された人はわずかですが被ばくをうけることとなります。1 回の検査で 2.5mSv (ミリシーベルト) 程度になり、これに CT 検査分の被ばく線量が加わります。これによる急性の放射線障害が起こることはありません。

4 副作用について

本検査で使用するお薬について重篤な副作用の報告はありませんが、このお薬を使用した臨床試験の中ではまれな副作用として、倦怠感 1.2%、嘔気 0.8%、便秘 0.5%、嘔吐 0.5%、その他注射部位の痛み、腫れ、口内乾燥などが報告されています(いずれも 1%未満)

5 検査前の準備

- ① 検査前は飲食をしていただいてもかまいません。
- ② 常用薬は、医師から特別な指示がない限り、普段通りに服用可能です。
ただし、前立腺癌治療薬(ホルモン療法薬、抗がん剤)は検査結果に影響することがありますので、必ずお知らせください。
- ③ 検査前日・当日の激しい運動は避けてください。
- ④ 来院後、当院で用意した検査着に着替えていただきます。検査着の下に T シャツなどを着ていただいても結構です。金属性の装飾品や金属のついた衣服(ネックレス、ワイヤーの入った下着など)、湿布、エレキバン、カイロなども更衣時にはずしてください。
- ⑤ 検査直前にトイレで排尿を済ませていただきます。

6 検査後について

検査後は別室にて 40 分ほど休憩していただきます。また、検査後 2 時間程度は妊婦の方や、乳幼児との接触を避けてください。

7 安全な検査のために

以下の項目に該当される方は検査前にお知らせください。

- 乳幼児がいる方(検査当日はだっこ・おんぶをするのは避けてください)
- 30 分程度同じ姿勢を保つことが難しい方

8 その他

- 当院の個人情報保護方針に基づき、検査データ等を個人が特定できない形で臨床研究・教育・統計等に利用させていただく場合がありますのでご了承下さい。
- PET 検査は多くの精密機器が使用されております。機械のトラブル、薬剤調整の遅延などで検査開始時間が遅れる場合や、検査が行えない場合もありますのでご了承下さい。
- 保険負担割合が 3 割の患者様の場合は約 16 万円の検査費用となります。
- 患者様都合による当日の検査キャンセルの場合は、検査薬代(約 25 万円)を請求させていただく場合がございます。キャンセルの連絡は前日の 17 時までにお願ひします。

PSMA-PET 検査に関する同意書

(⁶⁸Ga-PSMA-11)

【説明医師】

令和 年 月 日 医師氏名 _____

【患者様】

私は、以上の内容につき担当医から説明を受け、十分に理解しましたので、PSMA-PET 検査の実施に同意します。

令和 年 月 日 患者様氏名 _____

代理人氏名 _____

患者様との関係 ()